

浄心寺だより

発行
浄心寺門信徒会

郵便番号714-0081
笠岡市笠岡2065
電話(0865)62-2623
FAX(0865)62-2595
振替01260-9-13760
<http://joshinji.suki-ari.net/>



「み法を味わって」(平)

仏の目2

次に、仏は老少中年を見ない、といわれるのです。その人がどれほど素晴らしいものをもっているか、私たちの社会では年令によつて拒否され、排斥されます。「あんな年寄りにはダメだ」の一言でハネたり、「まだあれは若すぎる」と受け入れません。では中年だけとは思いますが、この中年という時期はあるようではないのです。昨日までは「若い若い」と言われて押さえつけられていた人が、一夜明ければ「年寄りだ」と排斥されるのです。

仏は、そのような年令で「いのち」の輝きを拒否することのない方です。仏は、若くとも老いていても、その「いのち」の輝きをそのまま受けとめてくださるのです。

私たちの場合はこれ以外にも、貧富で人を見、職業で人を判断し、学歴でその人の値打を決めるようなことをします。

それら一切の間違った「いのち」の見方を排除し、ただその人の「いのち」の輝きを讃え「いのち」の輝きに手を合わせていくというのが、「ただ衆生の善心あるものを観そなわす」ということでしょう。

善心とは、ただ心の内にとどまるのではなく、自らの「いのち」を照らして善心です。

藤田徹文『聞光力』より

宗祖降誕会

五月十六日(土) 十三時半から

・チャリティコンサート ・落語(笑福亭遊喬 師匠)

※門信徒総会(同日十一時半より)

ごあんない

春季彼岸会・永代経法要つとまる

三月十九日、十三時半より春季彼岸会、門信徒総追悼永代経法要が勤まりました。

阿弥陀経をお勤めした後、ご法話を拝聴。講師は生江浜、蓮乗寺住職の田井智彦師でした。

阿弥陀さまについてのお話を中



やさしい仏教講座

第 36 回 4 月 22 日 (まとめ)

『死の講義』

橋爪大三郎さんの著書 (二〇二〇年) を紹介しました。

前書きに「この本を読む理由。死んだらどうなるかわからないので、怖くて、心配で、読むではありません。せん。(中略)ほんとうは、しっかりと生きるために読む、のです」とあります。

本書は世界の大宗教のそれぞれについてわかりやすく解説した後、次のようにいいます。

宗教のどれかひとつを選んで、死

心にされました。

芸能人のファンは、芸能人のことをよく知っています。相手が自分のことを知りません。ところが、阿弥陀さまと私の関係は、そうではなく、両思いである、と。

阿弥陀さまからは「助ケル」、私は「助カル」という双方の関係で、私から「助ケテ」といってから阿弥陀さまが「助ケル」と言われる関係ではないのです、と。

んだらどうなるか、考えてみる。ちよつとやってみる、をお勧めする。それは、運命の出会いかもしれない。

宗教をひとつ、選んでみなければ、宗教のことはわからない。その宗教だけでなく、どの宗教のこともわからない。(中略)

人類の最大の知的財産である宗教を分らないまま、生きていけるといえるだろうか。ささやかな本書を手がかりに、宗教



阿弥陀さまは常に私たちにより添って下さる仏さまであり、口から出るお念仏そのものが阿弥陀さまである、とも言われます。私たちと一緒に移動して下さるといふことです。

煩惱を常にかかえて生きる私たちは、いろいろな仮面をかぶりながら暮らしています。そして、多かれ少なかれ、他人にはわからない心の闇をもっています。阿弥陀さまはそれらをすべてお見通しのうえで、何も批判せず、より添ってご一緒して下さい、と言います。その象徴がお念仏である、と。一方で、原語に即せば、念仏は

の豊かさを味わってくれる人びとがひとりでも多いことを願っている。

『源信和尚』

横川・恵心院



正信偈の「源信広開一代教、偏帰安養勸一切、専雑執心判浅深、報化二正辨立」のところをみていきました。この意味は、「源信和尚は釈尊一代の教えを広く説き明かし、ひとえに安らぎの極楽世界に帰れと、すべての人に勧められました。ひたすら極楽を信じる心とあれこれ信仰することに執着する心の、それぞれの深さと浅さ

阿弥陀如来への感謝のことばです。阿弥陀さまは極楽浄土という「また遇える場所」を創ってくださいました。こここそが私たちの救いとなり、抛り所となるのです。

を判定し、願いの報われる仏の国土と、救いとはならない仮の国土を正しく区別されました」

平安時代の中期、源信和尚は奈良県の当麻に生まれ、比叡山の横川で修行しました。「観無量寿経」の教えを説き広め、名声を獲ます。天皇にも講義をし、褒美をいただいで母に送ると、鼻高々の姿をたしなめられます。以後、和尚はひたすら救いとなる教えに生涯を捧げられました。

『家庭の仏事』

お仏壇での仏事としては、ご先祖の命日や月命日に手を合わせるものがあります。親鸞聖人の命日や月命日にもお参りします。特に聖人の命日は報恩講と呼ばれ、最大のお飾りをします。

川柳

閉塞な春紙飛行機は自由

藤井智史

門信徒の広場

地区委員さん登場



川辺屋北地区
福島良喜 さん

当地区は旧NTT付近から北方
向に川を挟んで、商店と住宅が混
在していましたが、今では多くが
店じまいをして閑静な住宅地とな
っています。

トット
ク一 過去帳ってなに？

浄土真宗では「過去帳」にその
家で亡くなられた方の法名などの
情報を書き込んでいきます。住職
が記入することが多いですが、ご
自分で記入されても構いません。

他宗派では葬儀後に黒塗りの位
牌を作り、仏壇に安置して手を合
わせるところもありますが、浄土
真宗では位牌は作りません。

過去帳は位牌とは違い、礼拝の
対象ではないので、仏壇の中央に
は置きません。中心をずらして過
去帳台に置くか、仏壇の引き出し

平成十三年にお父様から役員を
引き継がれ、門信徒8戸を担当。
近所には顔見知りが多く楽しく委
員をやらせてもらっているとのこ
と。

平成十九年からは門信徒会の会
計も担当されています。

健康面に心掛け、お寺のヨガ教
室にも通われて、元気な日々が過
ごせたらいいなど、楽しそうに話
されているのが印象的でした。

(高田泰紀)

の中に入れておい
ても構いません。
過去帳はあくまで
記録簿です。



過去帳台に置く場合は、日常は
開かず、仏壇で法事をする場合な
どに開かれるとよいでしょう。

なお、過去帳は日付のあるもの
とないものがあります。ない
もののほうが読みやすいです。

仏婦総会

4月10日

仏教婦人会の総会が礼拝堂で開
かれました。二十五名参加。昨年
度の行事報告と決算、今年度の行
事計画と予算を審議しました。

ダーナバザー



四月十八日、
十時半より礼拝
堂、聚園と駐車
場に商品を陳列
して開催。多く
の方々が詰めか
けました。
仏婦会員の持
ち寄った物品や



手作りの赤飯、
おでん、ケー
キ、またコー
ヒーも次々と
売れていきま
した。売り上
げは福祉施設
への寄付等に
あてられます。

料理教室

3月28日

九時半より庫裡台所にて料理教
室が開かれました。十三名が参加。
榊平洋子先生指導
の下、バザーで販
売するお菓子類と
目玉焼きの載った
ガパオライスを作
りました。



仏婦例会

3月5日

讃仏偈のおつとめののち、住職
による「葬儀、その時どうする？
」具体的なにはどうすればいいの
という話を聞きました。

近年、家族葬が増えるなど葬儀
のやり方も多様化していますが、
特に高齢の独身者の場合、直葬に
されることもあります。様々事情
のある中で、何とか遺族に寄り添
った仏事ができるように、色々な
やり方を提案いただきました。

川柳

たっぷりと人生に松ヤニを塗る

藤井智史

還浄(げんじょう) (敬称略)

道面	仁	2	20	93	園井
宮地	芳範	2	21	76	里庄町
青木	正裕	2	22	70	西大島
伊藤	安代	2	27	102	有田
前川	光江	3	13	93	横島
長安	村治	4	6	88	生江浜
赤田	和枝	4	10	86	舟隠
長安	幸	4	15	91	横島
藤井	徹	4	22	64	西大島

訂正

前号「還浄」欄で、佐々木世津
子さんの年齢が、正しくは75でし
た。お詫びして訂正します。

笠岡を歩く

歴史散歩(7)

長安主一

義民碑(1) 古城山下

正面 久兵衛儀兵衛両義民百五十年記念 一代義心両間正氣

犬養毅書

側面 大正七年一月建 発起者

小川益男 小川富太郎

明和九(一七七二)年六月、前々年に起きた笠岡村百姓騒擾事件の首謀者として斬首された百姓九兵衛と水呑百姓儀兵衛の百五十大遠忌法要の記念として建てられたもので、木堂・犬養毅の揮毫である。

お盆参りの中止について

各お宅を回るお盆参りは中止にし、お寺での「お盆法要」にお参りいただいています。



ご自宅へのお盆参りをご希望の方は、6月25日までにお知らせください。日時を調整し、後日お参りの日程をお知らせします。

お盆法要は

8月14日9時、11時、14時、

15日10時、14時です。

いずれかにご参拝ください。



る。

明和六己丑(つちのとうし)年、中国地方一帯の干ばつにて、備中南部、ことに本郡のごときは被害最も甚だしかりしなり。かくて農民は衣食の料に欠乏し、餓死するもの続出するに至れり。よりて翌七年八月笠岡村において小作人等連合し、地主に対して種麦給与の強談をなさんとするに至れり。当時百姓一揆、強訴歎願等ほとんど全国的に続出するの際なりければ、同年四月笠岡代官所は高札を掲げて、徒党、強訴、逃散を厳禁

サマースクール

7月22日(水)
10時から21時



仏さまの作法を習ったり、ゲームをしたりして楽しく過ごします。
対象・小学生なら誰でも
参加費・1000円
申込用紙はHPにあります
締切り・7/15(水)

令和8年度

門信徒会費納入のおねがい

本年度会費納入をお願い申し上げます。納入につきましては、地区委員さんを通してか、地区委員のおられない地区の方はご参拝の折、あるいは同封の郵便振替でお願いいたします。

門信徒会費は年額2,000円として、それ以上の御懇志の方には金額を限定しておりません。(会計)

罰の決定をみ、次いで刑の執行を終われり。

死罪 首謀者 百姓 久兵衛

死罪 准首謀者 水呑百姓儀兵衛

所払 同 久蔵

所払 同 八十郎

所払 同 市十郎

所払 同 文吉

所払 同 源助

所払 同 久四郎

所払 同 文太郎

所払 同 仁作

過料十貫文 連累者一同

ほかにこの暴動に参加せざりし故をもつて、賞を受けたる者に平七、嘉助の二人あり。後年に至り、死罪に処せられし久兵衛、儀兵衛二人の冥福を修するため地蔵尊を作りしが、後移転して現今富岡にあり。(『小田郡誌』)

編集後記

新緑の目にまぶしい季節になりました。境内のイチヨウにも小さな若葉が茂ってきました。

春季彼岸会・永代経法要、仏教講座等の報告、降誕会法要、サマースクール等のご案内をお知らせする第155号をお届けいたします。

季節の変わり目、お身体には十分お気をつけ下さい。

(編集委員)